

資料 3

2-2 2022 年度支部活動計画案について

下記の通りの事業と活動を予定しています。

・第 1 回資格更新研修会 (1 ポイント)

2023 年 5 月 28 日(日)13:00~16:10 (中休憩 10 分)

企画：松本千賀子 (支部役員)

講師：堀健一先生 (一般社団法人日本ホーイズタウンプログラム振興機構(IBPF Japan) /代表理事)

内容：コロナ禍における効果的な家庭支援～コモンセンスペアレンティングを用いて親子の健全発達を支える～

開催方法：オンラインのみ (配信会場設定なし)

対象：大阪・和歌山支部会員 (優先)、他支部会員、非会員臨床発達心理士、公認心理師

申込方法：士会 HP による

参加費：会員 500 円、非会員臨床発達心理士 5500 円、非会員公認心理師 6500 円

・紀南研修会 (0.5 ポイント)

2023 年 6 月 18 日(日) 10:30~12:00

企画：森下順子 (支部役員)

講師：坂本佳代子先生 (一般社団法人：心理&福祉サポートステーション折り紙)

内容：災害当事者となった時、子どもをどうする：ぴえろのあそび広場をきっかけとして

対象：士会会員、非会員臨床発達心理士、公認心理師、及び、大阪府・和歌山県在住または勤務の一般のかた(定員 50 名)

開催方法：対面集会のみ (会場：和歌山県立情報交流センターBig・U 研修室 1)

申込方法：当日参加のみ

参加費：一律 500 円 (当日徴収)

※前年度に延期予定となった士会災害支援委員長 (当時) の平野幹雄先生による研修は本人都合により中止となりました。

・第 2 回資格更新研修会 (1 ポイント)

2023 年 11 月 5 日(日)13:00~16:10 (中休憩 10 分)

企画：宮本直美 (支部役員)

講師：伊丹昌一先生 (梅花女子大学心理学科教授)

内容：インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 (案)

依頼主旨：特別支援教育をめぐる動きについては文科省の通知により、現場ではかなりの混

乱をきたしている。今回の研修では、文科省の通知による現場での混乱をふまえて、特別支援教育の現状とインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進という視点からお話していただく。

開催方法：オンライン研修会（配信会場設定や対面参加募集は未定）

対象：第1回に準じる（予定）

申込方法：士会 HP による

参加費：第1回に準じる（予定）

・ 阪和支部研究会（0.5 ポイント）

2023 年 11~12 月で調整中

企画：鎌田次郎（支部長） 予定

講師：支部会員報告者と指定コメンテーター(募集と個別依頼)

内容：実践報告会(事例報告*など)

※オンライン(またはハイブリッド)開催の場合は事例検討会は考えず、団体(ないし集団)を対象にした実践活動報告が可能かの検討を進める。

対象：大阪・和歌山支部会員（予定）

申込方法：士会 HP による

参加費：支部会員 500 円（予定）

・ 第 3 回資格更新研修会（1 ポイント）

2024 年 1~2 月で調整

企画：未定

講師：未定（小松先生）

内容：小松先生（病気静養中）が可能な場合は 2022 年度予定だった企画で

開催方法：未定（配信会場設定の場合は対面参加希望者を定員決めて募集）

対象：第1回に準じる（予定）

申込方法：士会 HP による

参加費：第1回に準じる（予定）

※その他

・大阪・和歌山支部研究会での実践活動報告（事例検討以外）を支部会員に広く募集または依頼をする。

・南海トラフ地震を見据えた支援活動ネットワークを旧関西支部内（とくに兵庫支部）で話し合う。